

研究ノート

三重県伊賀市で得られたメガネサナエ（昆虫綱；トンボ目）の記録

A new record of *Stylurus oculatus* (Insecta; Odonata) from Iga, Mie Prefecture, central Japan

大島康宏

〒 514-0061 三重県津市一身田上津部田 3060 三重県総合博物館

キーワード：初記録，サナエトンボ科，生物多様性，ライトトラップ

(2025 年 8 月 28 日 受付)

Yasuhiro OHSHIMA*

Mie Prefectural Museum, 3060 Isshinden-kouzubeta, Tsu, Mie 514-0061, Japan

*Corresponding author: ooshiy00@pref.mie.lg.jp

Abstract

Stylurus oculatus (Asahina, 1949) was confirmed from western area of Mie Prefecture for the first time. This individual was attracted to light trap at night.

Key words: new record, Gomphidae, biodiversity, light trap

メガネサナエ *Stylurus oculatus* (Asahina, 1949) は、サナエトンボ科 Gomphidae サナエトンボ亜科 Gomphinae の一種で、本州固有種であり（日本昆虫目録編集委員会, 2017）、かつ生息地は著しく局地的であるとされている（杉村ら, 1999）。国内に分布する同属のオオサカサナエ *S. annulatus* (Djakonov, 1926) とナゴヤサナエ *S. nagoyanus* (Asahina, 1951)（日本固有種）と酷似するが、本種はこの 3 種の中で最も体長が大きく、頭部形態や腹部第 3～6 節背面および 7 節背面の模様により区別できる（杉村ら, 1999）。

このたび著者は、三重県伊賀市にて実施された観察会のライトトラップにおいて本種を得た。本種の三重県内における記録はなく、また、光に飛来したという例も知られていないので報告する。

1 ♂. 三重県伊賀市西湯舟，標高 200m, 2025 年 8 月 16 日，大島康宏 採集，三重県総合博物館 収蔵 (図)

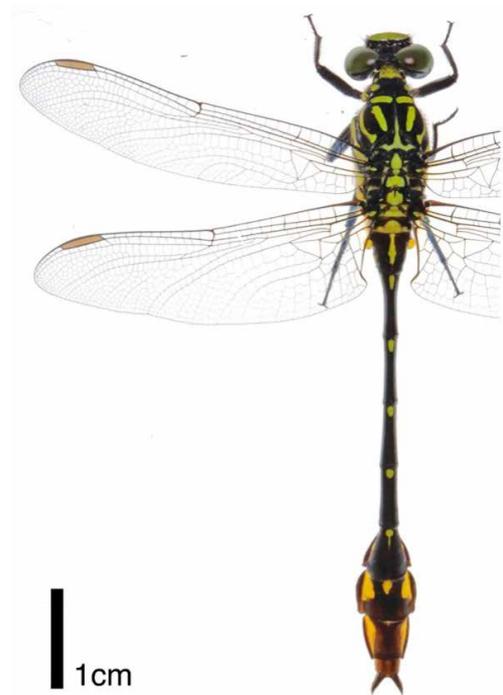


図 三重県伊賀市で採集されたメガネサナエ。

伊賀市西湯舟にある農業公園伊賀の里モクモク手づくりファームにおいて、夜間の観察会で設置したライトトラップで、午後8時ごろに飛来した個体を採集した。個体は羽化間もない個体ではなかったが、体は若干柔らかく、成熟しているとは言い切れない状態であった。

本種は、滋賀県の琵琶湖が最大の生息地と言われており（河瀬ら，2018），羽化して間もない未熟個体は、鈴鹿山脈山麓など内陸部まで飛来することが知られている（吉田ら，1998）。1994年7月29日には今回本種が得られた伊賀市西湯舟から最も近い滋賀県甲賀市甲賀町高嶺で成虫が得られている（吉田ら，1998）。これらの地点は、直線距離で3km程しか離れておらず、その間は緩やかな丘陵地が続く地形であり、本種の移動に影響する障壁となるような地理的要素は思い当たら

ない。また得られた個体は成熟しきっていないため、琵琶湖周辺で羽化した個体が、得られた地点まで飛来したものと考えている。

引用文献

- 河瀬直幹・牛島積広・八尋克郎（編）．2018．琵琶湖博物館研究調査報告第30号 滋賀県のトンボ（2010年代）．181pp.，滋賀県立琵琶湖博物館，草津．
- 杉村光俊・石田昇三・小島圭三・石田勝義・青木典司．1999．原色日本産トンボ幼虫・成虫大図鑑．917pp. 北海道大学図書刊行会，札幌．
- 吉田雅澄・八木孝彦・村木明雄（編）．1998．琵琶湖博物館研究調査報告第10号 滋賀県のトンボ．283pp.，滋賀県立琵琶湖博物館，草津．